

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、「住民こそ主人公」のあきる野市政実現をめざして!

2007.5.27 No.463 (毎月2回発行)

「憲法まもれ」——新たな出発にむけて

憲法9条への思い

あきる野9条の会
代表世話人

瀬沼辰正



一九四五年八月一日、私は東部第六二部隊(神奈川県溝口)で、昭和天皇の玉音放送を聴いたのだ。天皇の命令による「殺人の訓練」に明け暮れて三ヵ月あまりが経っていました。

私の戦後は、このときから始まりました。それまでの教育は、「一旦緩急あれば義勇公に奉じ」に象徴されるように「国家のために命を捧げる」というのが最高の道徳規範でした。

いったいこの先どうなるのか? 部隊長は「お前等は憲兵になつて残るんだ」と言うし、事実、憲兵の腕章を渡され、渋谷の松涛の民家に四・五人で駐屯し、街の警備に当たる体制をとつて待機していました。

九月四日、マツカーサーが相模原の飛行場に降り立つてまもなく、軍隊の存続はまかりならんと九月八日には、除隊しました。

戦争反対貫いた 人たちの存在に...

一ヵ月ぐらいいしてから、「戦争に反対していた人達が刑務所から解放された」というニュースが流れました。戦時中から「あの人達は日本国民ではないのだ」と自分自身に言い聞かせてきたつもりでしたが、戦後が始まっていった私の心の中では、鮮烈な出来事でした。

最初から戦争に反対していた人たちがいたんだという驚きと、その考えを貫いた人が僅かながらもいたんだ! との思いが、新鮮だったのです。

半年ぐらいいの間に到達した結論は、私たちは「騙されていたんだ!」ということでした。国家によって束縛されていた「あの人たち」の方が正しかったということです。

そして、私たちの「根本の規範は、戦争をしないことなのだ。人を殺すのに大義名分はない。」と思うようになりまして。

新憲法に謳われた 命の大切さ...

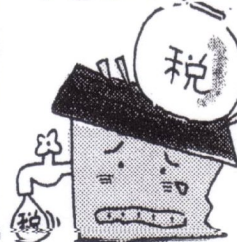
そこに新しい憲法が出てきたのです。これも大きな出来事でした。そこには、人権(個の命)の大切さが高らかに謳い上げられています。

「もう騙されないぞ!」どんなに理屈をつけても、戦争を正当化することはできないというのが私の信条であり、今日までの私を規律してきました。

「もう騙されないぞ!」残された時間はわずかになりましたが、これからのわたしをも、規律していくことでしょう。

えっ!住民税が2.66倍に 恐怖の6月がやって来る

住民税が今年も6月からまた増税になるといいます。心配になり日本共産党のホームページにある増税のシミュレーションをやってみました。



もうすぐ70歳に手が届く独り暮らし、高齢者の負担増シミュレーションというのをやりました。年金の年額18万円を入力して「計算」ボタンを押すだけです。

昨年の住民税6千円だったのが今年は1万6千円になると出ました。国保税や介護保険料も計算されていて、それぞれ、4万1千円から4万4千円、4万6千円から5万5千円へとアップするとも表示されています。住民税は2.66倍だ。所得の少ない高齢者は、住民税の非課税限度額が廃止された影響で来年も住民税額が上がり、私の場合、住民税は2万4千円になる。(知合いの50歳になるサラリーマン家族と、一昨年やつと就職ができた29歳の青年の場合もやらせてもらったら、いずれも住民税は倍以上になる。別表参照)



わたくしむすめの使い方がわかってきました。つきっきりならず、自分の仕事をする間に指示だけして、放っておく。急ぐ時は「今日はごめん、急ぐから」とお断り。お互い慣れてくると、けっこう便利です。路の皮むきなど、喜々としてやってくれて大助かり。(2歳になるちびがまざると、ごたごたしちゃうのがちょっと難ではありますが。)流行が過ぎるまで、便利に使わせていただくとします。(07.5.27)

<p>单身サラリーマンの場合</p> <p>29歳男性、月給20万円、費与3ヶ月分</p> <p>5月までの住民税月額 5,000円</p> <p>6月からの住民税月額 11,000円</p>	<p>サラリーマン4人家族の場合</p> <p>夫50歳、月給40万円、費与3ヶ月分、扶養3人など</p> <p>5月までの住民税月額 8,500円</p> <p>6月からの住民税月額 17,200円</p>	<p>高齢者単身世帯の場合</p> <p>68歳男性、年取(年金のみ)185万円</p> <p>06年の住民税年額 6,000円</p> <p>07年の住民税年額 16,000円</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

元暦二年(二八五)壇ノ浦で滅亡した平家一族の残党が日本各地に離散し、その後、僻地を開墾し住み着いたのが平家落人伝説です。宮崎の米良、徳島の祖谷・岐阜の白川などが代表的ですが、落人伝説は日本人特有の悲劇性に共感を与え、信憑性を一段と高めてゆきました。落人伝説に考えられる由来として、落武者が携えていた杖を土に刺し、枝葉が生じ大樹になったとされるもの、敗走途中の武者が休んだ「休み石」など記念物伝説があります。もう一つは開拓伝説ですが、苦難を越えて開拓していった精神力が、人々に悲劇性を伴って言い伝えられてきました。落人が苦難を越えて幸運を勝ち得る話は、隔絶された山村・海浜に伝承されています。◆「勝てば官軍」正論を推し進め実直を貫き通しても、敗戦は残恨を留めるのが歴史です。議会制民主主義の中で政治を変えるのは選挙に勝利する以外にありません。敗戦が許されない参院選が七月に行なわれます。(木崎)

野良望

たばた あずみ
連絡先は☎550-6674

ゆいゆい参議院選挙

日本共産党参議院東京選挙区予定候補

日本共産党あきる野市議団のアンケートに

回答どくどく②

日本共産党あきる野市議団のアンケートについて、3月25日号でお伝えしました。アンケートの常識を破る各項目ごとに、自由に書いていただく形式にしたところ、それが良かったのか、思いのたけを綴った意見や要望がたくさん寄せられました。とりわけ20代から30代の若い方からのアンケートが多かったのが特徴です。

●子宮がん検診について、毎年行ってほしい。どのような助成制度があるのか世帯ごとに配布してほしい。



●いまの世の中、子どもを安心して産める世の中になくなってきている。子どもを産み育てながら、妻も女性として輝くステージに立てるような世の中になってほしい。



●共働きの時代、夫も妻も

●子どもが安心して遊べる場がない。放課後の居場所がない。

●医療費助成、中学3年生まで無料化を、食費はけづっても子どもの医療費は削減できません。



●その他、教育福祉に関することや、交通問題、ゴミ問題、税金の使い方に関することなどについても多数寄せられました。

●子育て支援金、増やしてほしい。

●子どもの夜間、休日の診療を。

家事に専念できるような社会に変えてほしい。



市議団のアンケートに若い人からたくさんの声が！

元国会議員秘書
子育て真っ最中の41才

田村智子を必ず国会へ



子育て中の 若いお母さん
お父さんの 代表です。
みなさんの声を 必ず国会に
届け 実現させます。

プロフィール

■1965年長野県生まれ。早稲田大学第一文学部卒。■1995年から8年間国会議員秘書。衆議院選挙立候補2回。■趣味は合唱、本の読み聞かせ、園芸。■家族は夫と子ども2人。



圏央道あきる野土地収用反対裁判の終了にあたって

一番勝利の意義を学び
長期のご支援に

感謝する集い

とき=6月9日(土)午後1:30~
ところ=あきる野ルピア3F研修室

1部 裁判の終結にあたって

2部 感謝・懇親・交流パーティー

主催/牛沼土地収用反対裁判を支える会

お問い合わせ=鈴木 進(595-3936)

坂本 孝(545-3244)

松平重幸(558-0718)

山柳 二鶴
西川 昇引田在住
残業で 深夜までもが 宵の口
だめだコリヤ びひびは安眠 孫は9条

歴史探訪

第43回 地名考・小川郷②



法林寺 (小川) から八王子方面を望む

余談になりますが、私は阿伎留神社の場所を探すために住宅地図を見ていて不思議な事に気づきました。神社の神官さんの姓が「阿留多岐」となっていました。この珍しい姓はどのような系図を持っているのか、秋川に移り住んできた渡来人に関わりがありその未商なのか、「阿伎留」の地名との関わりはどうか、など思いは尽きませんが、事実は神官さんにお聞きしなければ分かりません。ご存じの方は教えて頂きたいと思っています。(続く)

草花 木崎秀治

俳句

小田返すあせに顔出すよきのとう (ルリ子)

快晴の空を染めたる桜かな (静子)

夜桜や七妻詠む歌にコップ酒 (勝代)

朧夜や異国の煙の便り抱く (富子)

スイートピー 記憶の底の母笑ひ (淑子)

道野辺に庭にたんぼぼ見て歩む (やす子)

塩加減ほどよき目刺朝の膳 (恵代)

花冷えの朝からともす暮らしの灯 (かほる)

踊り子に逢はず天城の山若葉 (香治)